

報告日 令和5年9月6日
報告回次 1日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|-----------------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 東神楽町 | 代表者名 | 町長 山本進 |
| 担当者部署 | 総務課 | 連絡先電話番号 | 0166-83-2112 |
| 担当者役職 | 法務情報係長 | 担当者氏名 | 深田佑斗 |
| 住所 | 071-1592 北海道東神楽町南1条西1丁目3番2号 | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-------------------------------|--|
| アドバイザー | 高橋 邦夫 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようになどころがよかったです等詳細に） | 参加者アンケートの結果、今回高橋さんにご講演いただいた内容が「自身の業務に活かせそうだ」という声がすべてであり、そのうえで、今までの認識を改めるきっかけであったり、新たな認識・考え方を取り入れるきっかけになったりしていることが判明している。 次回、11月に訪問をいたぐにあたってのポイント等も高橋さんと職員が実際に意見交換をすること、グループディスカッションを通じて聞こえてきた内容を踏まえご対応いただくこととしたため、より良い内容でのご対応を行っていただけたものと考えている。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 引き続き、東神楽町の取り組みに関し、ご支援・ご助言をいたたけるようよろしくお願ひいたします。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
|--------|---------------|-----------------------|--------------|---------|----------|
| | 令和5年8月31日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 9時30分 | 17時00分 | 60 |
| | | | | 活動時間（分） | 390 |
| 3-2. | 会場名 | 東神楽町役場 | 最寄駅 | 旭川空港 | |
| 派遣場所 | 所在地 | 北海道上川郡東神楽町南1条西1丁目3番2号 | 最寄駅からの交通手段 | 公用車で送迎 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
|--|--|------|
| | 町職員等 | 22 人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | デジタル化、DXに関し、担当課・担当職員だけが担当する業務。という根強い縦割り意識がある。本町の場合、デジタル化への取り組みは町長主導による事業であるという認識が強く、職員の主体性が希薄。 | |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | デジタル化、DXとは何か？という本質的な課題の認識を職員一人一人が持つこと。特に「DX＝新システム導入」という誤った認識を是正すること。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | DXは単にデジタル化ではない。仕事のやり方に対する改善の方向性・マインドについて（役所の場合、住民に来庁してもらうことが当たり前だったこと自体についてメスを入れるようなこと）。DXは情報担当がやることだという認識すらも疑って取り組むべきこと。2040年には今まで以上に人材の不足が待ち受けていることを認識してどのような行政のあり方を考えるか？ | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 完全に…とは言い難いところがあるが、デジタル化・DXに関する事柄について、自分事として考えるきっかけを醸成することが可能となった。 ※高橋さんの講演を受けて、福祉部門の女性職員がどうやったら忙しい妊婦さんとの連絡を効率的にとることができるのか？母子手帳のデジタル化を推進することの意義や必要性について、主体的に考え、高橋さんに質問をしていた姿が印象的ではあった。 | |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 まずは、豊島区や各自治体での取り組みや経験を語っていただき、職員の認識を新たにすることが目的であったことから、具体的な成果物はできていない。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 東神楽町の具体的な課題（庁内NW、学校NW等）の課題解決に向けた取り組み等に関しては次回11月に来庁いただく際に詳しく協議することとし、今回の2日間の来庁においては、職員の意識形成を軸に行っていただいた。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

